

平成26年度 草津市水道事業報告書

(1) 概況

イ 総括事項

本市の水道事業においては、平成22年度に策定しました「草津市水道ビジョン」に基づき、「安全で良質な水道水を安定的に供給する」という基本使命を果たしていくとともに、本市の水道事業が直面している施設や管路の老朽化と水需要の減少などの諸課題の解決を図り、公営企業としてより効率的で透明性の高い事業実施に努めています。

本年度は、施設・管路面では、昨年度に引き続きロクハ浄水場の耐震性向上や、北山田浄水場配水系統とロクハ浄水場配水系統を結ぶ連絡管の整備、およびアセットマネジメントによる老朽化した管路の更新など、災害や水質事故などの非常時にも安定して水を供給できる施設整備を進めました。

組織体制面では、高齢化が進む技術系職員を新たに確保する等により技術承継を図りました。

経営面では、草津市水道ビジョンに基づいて策定した「草津市水道事業経営計画」により、中長期的な視点から、効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組みました。また、平成23年10月1日から平成28年3月31日までの間、利益積立金を用いて料金の一律10%還元を実施し、使用者負担の軽減を行っています。

今後とも、安全でおいしい水をつくり届け、快適な市民生活を支えていけるよう努力していきます。

(給水および業務状況)

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,608万 m^3 で前年度比1.1%減、有収水量については約1,516万 m^3 で前年度比1.2%減、有収率は前年度より0.1ポイント減少して94.2%となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持しておりますが、継続的に実施している管路診断業務（配水管漏水調査）や、計画的な老朽管更新を推し進めることによって、無効水量の減少、有収率の向上に努めていきます。

また、本年度は、地方公営企業会計基準の大幅な改正による影響から、前年度数値との単純比較ができなくなっており、前年度比較値はあくまで参考となります。

収益的収支の状況については、収益総額は24億2,603,934円で前年度比10.3%増加、費用総額は20億7,611万8,521円で前年度比0.3%増加となり、その結果、3億2,414万5,413円（前年度比201.8%増）の純利益を計上しております。この利益の大幅増は、基準改正により収益に新設された長期前受金戻入（非現金収入）3億3,581万4,533円による影響を大きく受けています。なお、この未処分利益剰余金は、減債積立金に1,621万円を積み立て、残額3億793万5,413円を建設改良積立金に積み立てる考えです。

資本的収支については、収入額6億2,017万7,249円（前年度比22.9%増）に対し、支出額は18億3,615万7,467円（前年度比15.5%減）となり、差引12億1,598万2,181円の資金不足が生じました。この不足額については、損益勘定留保資金11億3,149万3,661円、減債積立金537万円ならびに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,911万6,557円で補てんしました。

なお、建設改良費のうち北山田配水系野村工区更新他工事他1件については、地方公営企業法第26条第1項の規定により1億3,922万4,000円を、平成27年度に繰り越しました。

| 区 分 | 平成26年度 | 平成25年度 | 増 減 | 増減比率 | |
|-------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|---------|
| 給 水 件 数 | 33,347 件 | 32,926 件 | 421 件 | 1.3 % | |
| 配 水 量 | 総 量 | 16,082,870 m^3 | 16,262,551 m^3 | △ 179,681 m^3 | △ 1.1 % |
| | 一日最大 | 48,994 m^3 | 51,024 m^3 | △ 2,030 m^3 | △ 4.0 % |
| | 一日平均 | 44,063 m^3 | 44,555 m^3 | △ 492 m^3 | △ 1.1 % |
| 有 収 水 量 | 15,157,094 m^3 | 15,337,800 m^3 | △ 180,706 m^3 | △ 1.2 % | |
| 有 収 率 | 94.2 % | 94.3 % | △ 0.1 % | — | |